

平成26年度「GKP広報大賞」エントリーシート

エントリーする団体名の名称 北九州市上下水道局	担当者氏名、所属、連絡先【電話、Fax、E-Mail】 海外・広域事業部 海外事業課 伊藤 智則 Tel :093-582-2012 Mail:tomonori_itou01@city.kitakyushu.lg.jp
代表者氏名 上下水道局長 富増 健次	(他薦の場合) 上記団体を推薦する団体の名称

部門名 広報部門 (行政広報部門)	事例名 北九州市の下水道啓発活動を海外へ移転!!
----------------------	-----------------------------

事例の概要 (適宜、写真、図、記事の画像等を挿入して下さい)

ベトナム国第3の都市であるハイフォン市は、数年後に、同市初の下水処理場が供用開始されるなど下水道事業が本格化しており、円滑かつ持続的な事業運営の実現に向けて、下水道料金の負担など市民の理解と協力が不可欠な状況である。

そこで、ハイフォン市と技術交流を進めている北九州市は、JICA草の根技術協力事業を活用し、ハイフォン下水道排水公社(SADCO)とともに、市民理解促進に向けた啓発活動の一環として、ハイフォン市の中学校で環境教育の実演を行った。

この活動は、ハイフォン市初の試みであり、現地メディア(テレビ、新聞)にも大きく取り上げられた。

**“ハイフォン市初、子ども達を対象とした下水道啓発活動の実践”
～北九州市の専門家が環境教育を実演～**

◆目的

- ・子ども達に水環境の大切さと下水道の役割について理解を深めてもらう
- ・SADCOや教師等に環境教育の実施ノウハウを移転し、効果を実感してもらう
- ・環境改善に向けたまちの機運を高める

◆実施内容とそのねらい

- ・水環境に関する講話：水環境の大切さを理解してもらう
- ・水質実験：身の周りにある水の水質がどの程度か知る
- ・子ども達の意見発表：自ら考え、発表することで深めた知識を定着させる



水環境に関する講和



水質実験



子ども達の発表



現地のTV報道

エントリー事例の特徴 (施策等そのものの特徴ではなく、施策等を発信する広報戦略及びその効果が優れていると考えている点を明記願います)

海外での環境教育の実演は、北九州市にとっても初めてのチャレンジであったが、子ども達から意識向上を感じさせる多くの意見が寄せられるなど環境教育の効果の高さが改めて実証された。

この取組みを海外現地メディアと連携して広く情報発信したことで、下水道整備に向けたまち全体の機運を高めるとともに、下水道技術交流を通じ、ハイフォン市と北九州市の友好交流関係を市民レベルまで浸透させることができた。



現地メディアの取材 (インタビューを受ける北九州市の専門家)